

第21回市民自治推進委員会 防災・環境部会会議録

(敬称略)

開催日時	令和2年4月17日(金) 書面にて実施
出席者	(部会長)江口 武利 (副部会長)川島 芳治 (部会員)和泉 薫、丸 博子、遠藤 潤 (庁内委員)土門 和宏、篠原 知紀 (事務局)大越 智輝、今野 沙弥
欠席者	(部会員)久保田 博史
議題	避難訓練実施状況アンケートの集計結果報告及び意見の照会

【防災訓練実施状況アンケートについて】

- ・前回の部会で、平成29年に実施した避難訓練実施状況アンケートを今年度も実施したい旨の意見が出たことから、2回目として平成30年、令和元年度分の調査を実施することとなった。前回との比較をしやすいするため、設問は同じ内容とした。
- ・登別市連合町内会へ趣旨を説明し賛同を得たことから、令和2年2月10日付けで各地区連会長、単位町内会町へアンケートを発送した。

【アンケート結果のフィードバックについて】

- ・アンケートの集計結果が出たことから、4月17日付けで書面会議を実施し、結果報告を行った。
- ・アンケート結果をフィードバックすることに関して同意するか否かを確認したところ、全部会員が同意すると回答したため、ご協力をいただいた各地区連会長、単位町内会長へ結果を報告することとする。

【アンケート結果に対する意見について】

- ・今回の書面会議で以下の意見が出た。
 - 結果報告を受けた各町内会は何か次のアクションを求められるのか。次回はこうしたら良いなどのアドバイスがあれば、具体的な行動がわかるかもしれない。
 - 避難訓練実施町内会数が非常に少ない。本番の時が思いやられる。
 - 未回答の町内会が多すぎるため、100%になるよう心がける必要がある。未回答の大部分は避難訓練未実施と思われる。地区連町単位でとりまとめ、報告を受けることによって、地区連町毎の把握ができ回答率もアップすると思われる。

- 避難先は殆どが屋外であるが、現状ではいろいろ問題がある。1度にはできないが、できるところから整備する必要がある。
- 避難訓練は、登別市連合町内会の協力なしには向上できない。全面的な協力要請をすべきである。
- 令和2年9月に全市一斉に避難訓練実施と伺っているが早めにPRし効果を上げたい。理想的には2年または4年に1回、全市一斉の避難訓練を天候に関わらず習慣として実施したい。

【今後について】

- ・上記の意見に沿って、アンケート結果をどのように活用していくのか、回答率を上げるための工夫、登別市連合町内会との協力体制などについて、次回以降の部会で話し合いを持つこととする。